

生物遺伝資源提供同意書 (MTA) 記入例

公益財団法人神戸医療産業都市推進機構（以下甲）と 機関名（例：国立大学法人〇〇大学）（以下乙）は、ナショナルバイオリソースプロジェクト加齢マウス供給事業における加齢マウスを提供するにあたり、次の事項に同意する。

1. 甲は、健康長寿社会の達成を目指す国家戦略を支えるライフサイエンス研究基盤構築のため、加齢マウス(バイオリソース)（以下本加齢マウス）の提供を行っている。

2. 乙は本加齢マウスを、次の課題に利用する。(課題名 利用の具体的使用目的・方法を明記)。

課題名： ●●●・・・(申請時の課題名。変更不可)

使用目的： ●●●・・・(具体的な目的を簡潔に記入してください)

使用方法： ●●●・・・(具体的な使用方法を簡潔に記入してください)

乙が、本加齢マウスを上記と大幅に異なる課題に利用するときは、事前に甲に連絡する。

3. 乙は、本加齢マウスをヒトに関する実験に使用してはならない。

4. 乙は、本加齢マウスを利用した研究結果を発表する際は Materials and Methods 等に、本加齢マウスが文部科学省ナショナルバイオリソースプロジェクトを介して、甲から提供されたことを明示する。〔英文例 the aged mice were provided by the Foundation for Biomedical Research and Innovation at Kobe through the National BioResource Project of the MEXT, Japan.〕また、利用者はその発表の情報を甲へ送付する。甲は、その発表および成果の情報を公開できる。

5. 乙は、本同意書の 2.の課題が達成された場合、本加齢マウスの利用によって生じた知的財産権、商標権等の権利を甲に書面をもって通知する。甲は、それらの情報を甲の事業の成果として使用することができる。

6. 乙は、本加齢マウスの提供にあたって発生する経費を負担する。

7. 乙は、本加齢マウスを 2.の記載の課題に関わる共同研究者を含む第三者への転売又は譲渡、あるいは、上記以外の第三者に利用させることはできない。

8. 乙は、本加齢マウスがそのままのものとして提供されるものであり、本加齢マウスの利用によって損失が生じた場合は乙自らの責任で処理する。乙は、2.の課題の実施及びその結果に関わる法的責任について、甲とその全ての職員の法的責任を免除することを保証する。但し、甲の故意又は重大な過失により生じた紛争についてはこの限りではない。

9. 乙は、本加齢マウスの利用にあたって、「動物の愛護及び管理に関する法律」（昭和48 年法律第 105 号）等、必要に応じて、該当する日本の法令及びガイドラインによって認められる範囲内の研究環境、実験条件等で取り扱わなければならない。甲は、乙のこれら法令、ガイドラインの遵守について一切責任を負うものではない。尚、当該法令等に基づく手続きが必要な場合には、当該法令に従って乙がその手続きをしなければならない。

10. 乙が本同意書に違反したとき、甲は乙による本加齢マウスの利用を停止することができる。

11. 本同意書に定めのない事項及び本同意書の履行について疑義を生じた内容については、双方が協議し円満に解決を図る。

12. 本同意書の準拠法は、日本法とし、本同意書に起因し、又は関連する一切の紛争については、被申立人の所在地を管轄する地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とする。

13. 本同意書 2 通を作成し、甲、乙それぞれ 1 通を所持する。

西暦 年 月 日

甲：

〒650-0047 神戸市中央区港島南町 6 丁目 3 - 7

公益財団法人神戸医療産業都市推進機構

理事長 成宮 周 印

乙：

所在地： 〒xxx-xxxx ○○市○○区○○○1-2-3

機関名： 国立大学法人○○大学 ※法人格も含めた正式な名称のご記載をお願い致します

研究担当者： 利用される方のお名前 印

研究責任者： 利用される方の研究室の代表者 or 主任研究者等（PI）のお名前 印

機関長： 所属の機関名 機関長のお名前 公印

※MTA 締結にかかる契約権限のある方をお願い致します。

どなたがご担当されているかは各アカデミア知財等ご担当部署にご確認下さい